

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	シリコンを用いた吸引管装着型脳ベラの有用性の検討
研究責任者	代表; てんかん科 藤本礼尚 分担研究者; 小児神経科 榎日出夫
研究実施体制	脳梁離断を行った症例をサーベイする
研究期間	IRB 承認日～2021年3月
対象者	2020年4月～2021年3月の間に当院で脳梁離断を行った症例のうちシリコン搭載型吸引管を用いた症例
研究の意義・目的	シリコンシートは脳神経外科領域では良く用いられる素材であり、脳ベラとしての機能もある。これを吸引管と一緒に用いて脳を保護しながら効率的な吸引ができた事で安全に手術ができる事がわかった。この事を報告する。
研究の方法	【方法】当院で脳梁離断術を行った症例のうちシリコン搭載型吸引管を用いた手術の使い勝手や安全性を検討する。 【選択基準】当院で脳梁離断を行った症例 【除外基準】1.シリコン搭載型吸引管不使用例 2. 再手術で癒着が強い症例 【予定症例数】9 症例 【症例数の設定根拠】対象となる期間の患者数より算出。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 てんかんセンター (氏名) 藤本礼尚 TEL:053-474-2222(代表) てんかんセンター外来 9:00～17:00 平日